

第3回 八木中学校区 学校運営協議会 記録

期日	令和5年11月10日	会場	流山市立長崎小学校
----	------------	----	-----------

会長挨拶（久保田）

協議会を通じて学校独自で解決不可能な問題に取り組んでいきたい。

アンケートの記入のお願い。

長崎小祭りの感想

学校運営協議会の記録を会場校の事務職員が行う。

（山口校長）

文科省から「教師を取り巻く環境整備について緊急的に取り組むべき施策（提言）」について前回お配りした。その中で、学校がすぐにでも取り組んでいけることは、「学校、教師が担う業務の適正化の一層の推進」にあり、さらに3つに分類されている。

- ① 「学校・教師が担う業務に係る3分類」を徹底するための取組
- ② 各学校における授業時数や学校行事の在り方の見直し
- ③ ICT活用による公務効率化の推進

今後資料のとおり考えられるテーマはいくつもあるが、この場でこれからの学校運営を検討する際の視点として、業務改善、有意義な学校行事、居場所としての学校の在り方、これからを生きる子供達にさらに必要な学力が、大切だと考えている。今回は学校行事の例として、長小まつりについて。

（長崎小まつりについて）

昔ほどの学校でも、休日に1日文化祭・バザーなどを含めて開催されていた。コロナ禍でできなくなり、長小まつりとして平日に行うようになった。時間をかけて子ども達が作りあげて取り組ませている。

（次に居場所としての学校について）

長崎小の長欠12名で2.24%。上の学年ほど多くなるという傾向。学校が唯一の居場所ではない。しかし学校にいきたいと思う学校でなければならない。フリールールの設置、特別支援の境目をなくす努力、行事を子供中心に考えた見直し等、不登校の子供達にも魅力を伝える工夫をしている。人との交流の場をつくり、不登校克服のきっかけづくりにしている。

(久保田会長)

長崎小まつりについて、何かご意見ご感想があればお願いします。

(坂本さん)

長崎小まつりありがとうございました。1年～6年生までの多学年の交流がすばらしい。バザーなどの行事をきっかけに、不登校の児童生徒が登校してくるようになる。お化け屋敷など伝統ある出し物の準備や、看板づくりなど児童が作りあげていくことは素晴らしいことです。

図書室の環境が良く、長崎小の取り組みは素晴らしいです。

長崎小まつりに参加 PTA と学校の連携について説明。

(民生委員八木中岡村さん)

遊びを通じて子どもとの交流をはかるのはいいこと。

昔遊びの手伝いをして、子供達の交流の場を身近に見れて成長を感じた。

(八木中幼稚園根本さん)

児童の通常の日課の日常が見れてよかった。

休日から平日変更しても行事開催していただきありがたいです。

今後も続けて行きたいです。

(金山さん)

保護者と子供たちが、いったいとなって繋がっていく。

子供の一人の個性が、ひきだされ磨かれていってほしいです。

(青柳さん)

昔遊びは、かつては子供の普通の遊びだったが、今は昔遊びとして、地域の人が子供達に技術を伝授して、子供達に創造的かつ協力的に活動しており将来に繋がる活動と思っている。

(流山高等学園松見先生)

高等学園はキャリア教育に力をいれている。キャリア教育に繋がる。

アンケートの項目を見て、これこそキャリア教育だと思いました。

将来の繋がりになる素晴らしい狙いと取り組みであると思いました。

子供達が懸命に説明したり、取り組む様子を見て、楽しく参加している姿が印象的。

(久保田会長) 文科省から出ている取り巻く環境整備について、校長先生から説明がありました。前回八木南小の方から資料もあり討議いたしましたが、難しい内容ですが、これについて感想なり、ご意見を聞かせていただきたいと思います。

(小野寺さん)

学校をとりまく環境について理解している。

見方を変更して業務改善をしてるのが分かります。

地域の間人ができることで、学校に貢献でき、子供達と先生方に技術伝授できれば。

(久保田会長)

学校に勤務して、子供達のためだからと思ひ仕事が増えているのを切実に感じる。

地域の人が出来るとは積極的に行い、運営協議会で話し合いをしていゝんなことが反映されることを望みたいと思ひます。

(辻本校長)

学校現場の環境を整えても、いい人材の確保が難しい。

昔の先生は仕事としてできたが、今の若い先生にとっては負担になっている。

環境を変えていくことと、学校が変わっていくことが今の課題だと思ひう。

(山口校長)

学校が引き受けることと学校以外にお願いしていくべきことがある。現実には学校に連絡があると、学校が対処することになる。

ぜひいい考えがあればお力添えいただきたい。

関連して地域にお願いすることも学校では、窓口がほぼ教頭となり負担になっていることもある。学校支援コーディネーター職が配置され、地域ボランティアの連絡調整など地域コーディネーターの長田さんをお願いでき手助けになっている。

(坂本さん)

全国大会が流山で開催されるので御案内と御協力お願い

(八木中辻本校長)

第4回学校運営協議会の日程変更→3月1日(金)変更